武蔵野大学能楽資料センター主催　助成：平成30年度 公益信託 稲生雅治・惠子能楽振興基金

狂言鑑賞会

～小林責先生を偲んで～

2018.12.18.TUE

入場無料
事前申込制

A公演　12:45開演　　解説：三浦 裕子（センター長）

「川上（かわかみ）」
盲目の夫　野村　万作
妻　野村　萬斎

「文荷（ふみにない）」
太郎冠者　石田　幸雄
主　竹山　悠樹
次郎冠者　深田　博治

B公演　15:00開演　　解説：三浦 裕子（センター長）

「横座（よこざ）」
牛主　野村　万作
何某　石田　幸雄
牛　飯田　豪

「岡大夫（おかだゆう）」
聟　野村　萬斎
舅　深田　博治
太郎冠者　月崎　晴夫
妻　中村　修一

会場
雪頂講堂　武蔵野キャンパス6号館
東京都西東京市新町 1－1－20

今回の催しは鑑賞補助ツールに関する研究の一環です。
ご来場の皆様には、音声ガイド（日本語）または字幕（英語）を使用後、アンケートにご記入いただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。
チラシ裏面にある研究の趣旨にご賛同いただいたうえでお申込みください。抽選となります。

センター長・三浦裕子による狂言鑑賞会事前講座　聴講無料

★狂言鑑賞会は抽選ですが、事前講座は予約不要で、どなたでも受講できます。

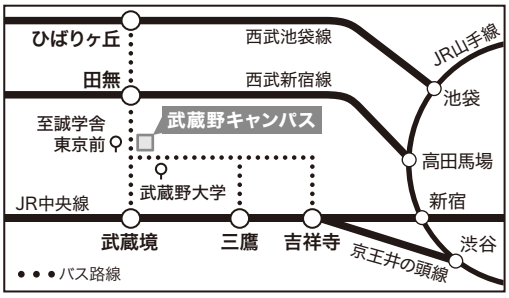
日 時：12月15日（土）13：00～14：15　　会 場：武蔵野キャンパス1号館 1102教室

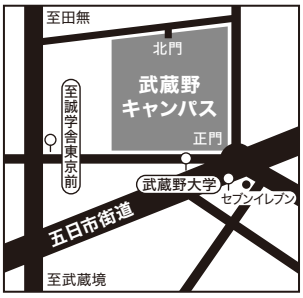
JR（中央線・総武線）・地下鉄東西線・京王井の頭線

武蔵境駅	三鷹駅	吉祥寺駅
北口バス③ 三鷹駅行、武蔵野営業所行バス約7分「武蔵野大学」下車	北口バス③ 武蔵野大学行、武蔵境駅行、武蔵小金井駅行、ヴィーガーデン西東京行バス約10分「武蔵野大学」下車	北口バス① 向台町5丁目行、桜堤団地行バス約15分「武蔵野大学」下車

西武新宿線	西武池袋線
田無駅　北口バス⑤ 武蔵境駅行バス約5分「至誠学舎東京前」下車、徒歩5分	ひばりヶ丘駅　南口バス① 武蔵境駅行バス約20分「至誠学舎東京前」下車、徒歩5分

※上記のうち、直行バスも運行されている三鷹駅での下車が便利です。
※お車でのご来場はお断りしております。





世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World

Musashino University　武蔵野大学

お問い合わせ　☎042-468-9742
開室日：月～木曜日（鑑賞会当日は利用できません）
武蔵野大学 能楽資料センター
〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20
武蔵野キャンパス１号館3階

研究へのご協力のお願いとお申込み方法について

今回の催しは稲生雅治・惠子能楽振興基金の助成を受けた鑑賞補助ツールに関する研究※の一環です。
能・狂言を鑑賞する際の補助ツールはハードの面では様々な機器が開発されています。しかし、その内容等についてはあまり検討されていないのが現状です。
今回の狂言鑑賞会では試験的に音声ガイドと字幕を導入し、アンケートを実施いたします。その分析を通じて、上質のコンテンツ制作のための方法論の確立、情報の蓄積と共有化のための基盤整備を進めたいと考えております。

ご来場の皆様には、イヤホンによる音声ガイド（日本語）またはタブレットパソコンによる字幕（英語）をご利用いただき、アンケートにご記入いただきます。研究の趣旨にご賛同いただいたうえでお申込みください。

※「能・狂言の音声ガイド・字幕に関する研究序説～上質のコンテンツ制作のための方法論の確立と情報の蓄積・共有化に向けた基盤整備への試み」

■ 申込方法

往復はがきにて申込（抽選）　入場無料

応募締切：11月20日（必着）

◆A公演・B公演は完全入れ替え制です。
◆AまたはBのご希望の公演ごとに、往復はがきにてお申込みください。
◆はがき1枚につき１名様、1公演のみのお申込みとなります。

往信はがきに①～⑤について明記し、**返信はがきの宛先を記入**のうえお送りください。
抽選後、公演１週間前までに返信はがきで結果をお知らせいたします。

①ご希望の公演（AまたはB）　②氏名・フリガナ　③住所　④電話番号
⑤当日使用する補助ツール（ア：日本語音声ガイド または イ：英語字幕）

郵送先　〒202-8585　東京都西東京市新町1－1－20
武蔵野大学能楽資料センター　狂言鑑賞会係

小林責先生と狂言鑑賞会について

今年の５月22日、小林責名誉教授が89歳でご逝去されました。学生をはじめ多くの方々から慕われる、面倒見のよい気さくなお人柄の先生でした。

武蔵野大学（当時 武蔵野女子大学）では1968年４月から2000年３月まで32年間にわたり、文学部日本文学科の中世文学関係科目などをご担当されました。ご専門は能楽（能・狂言）で、能楽資料センター所員、そして所長もおつとめくださいました。

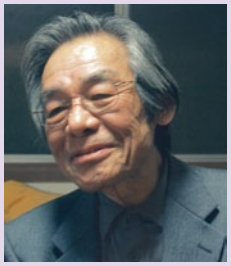
ことに狂言を愛し、研究を通じて、その地位の向上にご尽力されました。文化庁主催の諸委員（文化財保護審議会専門委員など）をつとめられ、またテレビ出演などを通じて能・狂言の普及啓蒙を積極的にされるなど、社会的活動にも貢献されました。

能楽資料センター主催の狂言鑑賞会も、責先生の狂言とその普及に対する情熱が結実したものと言えます。

今回は責先生を偲んで、大学時代からのご友人であり、狂言の師である野村万作先生が素晴らしいプログラムを組んでくださいました。

狂言の魅力と多様性を皆様に感じていただくことが、責先生のご意志に添うことと考えております。

能楽資料センター一同



■ 主な著書等
『狂言総覧』（共著。能楽書林）、『狂言史研究』（わんや書店）、『狂言辞典 事項編・資料編』（共著。東京堂出版）、『野村万蔵著作集』（共編。五月書房）、『田中涼月歌舞伎囃子一代記』（共著。日本芸術文化振興会）、『狂言ハンドブック』（監修。三省堂）、『日本古典芸能と現代―能・狂言』岩波セミナーブックス（共著。岩波書店）、『佐渡能楽史序説―現存能舞台三五棟―』（共著。高志書院）、『能楽大事典』（共著。筑摩書房）。

■ 受　賞
『狂言辞典　資料編』により社団法人東洋音楽学会より第３回田辺尚雄賞。観世寿夫記念法政大学能楽賞。